

清野 愛莉ちゃんのお母さん
清野 八寿子さん

初めて一緒に買いに行き、読んであげた絵本。今でも大のお気に入り！真っ赤な表紙に真っ黒なクマさん。赤いりんごを探しに行くお話「おさんぽくまさん」です。

「くまくんが「てくてくてくてくて」と歩いているときや、赤い実を探して木を「ゆさゆさゆさ」と「がさがさがさ」と読んでいると音に合わせて全体をゆらして表現してくれます。

何度か赤い実を見つけたら、最後には一緒に悲しいお顔を…最後にやると赤いりんごを見つけたらニッコリウフフ ママがりんごを一口ぱくぱくすると、真似してわたしも上手に「パクパク」そしてママにもう一回どうぞとお口に「パクパク」としてくれます。

いつまでお気に入りに入れてくれるかなあと微笑ましく思っています。



「プチハウスの子どもたちは、絵本がだいすきです。園でもお家で子どもたちには大好きな絵本があるようです。当園では毎月絵本だよりを発行しています。その中で保護者の方におうちでの絵本について書いていただいたコメントよりご紹介いたします。」

ぶちたまご

第3号

平成26年2月
社会福祉法人
米沢仏教興道会
プチハウス
米沢市徳町1-38-1
TEL 0238-26-6565

あかちゃん組 「おもしろいね」



トンネルの向こう側から保育者に「おーい○○くん」と声を掛けられ、嬉しそうに這い這いで進んでいます。

とことこ組



「カレーパンマンだよ〜」

マントをつけて子どもたちの大好きなカレーパンマンに変身!! 公園には子どもたちのニコニコがいっぱいです。

てくてく組



「きれいだねー」

山の上にごろんと横になって見ると、きれいだねー

あくぼ組



「お友だちだいすき」

ロッカーのスペースにお友だちと一緒に入り、ほほえみ合ったり、やさしくぶれあつて楽しんでいます。

わくわくおもちゃ

子どもたちの興味や育ちに合わせて、手作りおもちゃを作っています。ぬくもりのある手作りおもちゃで喜んで遊ぶ子どもたち。手作りおもちゃであそぶ子どもたちのキラキラとした笑顔を見られるのが楽しみです。



タペストリー 「いろんな手先遊び 楽しいな」

大判のネル生地やフェルトやファスナーケースなどを縫い付け、街をイメージしたタペストリーです。マジックテープや洗濯ばさみあそび、ファスナーの開け閉めなど様々な手先のあそびができます。家の煙突からは煙のように布を引っ張り出せます。海には魚が泳ぎ、木には季節の果物が実り、道路には車が走るなど、子どもたちはイメージを膨らませながら楽しんでいます。



動く車 「乗りものあつまれ！」

子どもたちの大好きな動く車を牛乳パックで作りました。床に寝そべり片手で「ピーポーピーポー」と言いながら走らせたり、「乗りものあつまれ〜」と動く車の歌をうたいながら遊んでいます。作り方は、①新聞紙を牛乳パックの底と同じ大きさにたたむ②たたんだものを底から入れる③ガムテープで止める④画用紙や折り紙で周りを貼り、好きな車の装飾をする とてもシンプルな作り方です。ご家庭でも楽しんでみてください。

編集後記

今回の情報誌では、「笑顔がいっぱい」をテーマにほっと心が温まる子どもたちのあそびや生活の様子をお届けしています。友だちや保育者と過ごす元気いっぱい笑い声の絶えない毎日の中で日々様々な成長を見せてくれる子どもたちです。プチハウスでの春夏秋冬を通して、体を動かしてあそび、よく笑い、そこから大きくたくましく育ってくれることを願っています。これからも笑顔あふれる子どもたちの成長を温かく見守っていききたいと思います。(佐藤 記)

至福の笑顔 プチハウス 園長 山口 武揚

子どもの笑顔を見ていると、つられて自分も笑顔になっていたりと、知らず知らずに疲れが癒されたりしませんか。子どもの笑顔には不思議なパワーを感じます。

しかし、子どもは大人の気持ちのありように敏感です。人の表情から実に多くの感情を読み取っているようです。親がイライラしていると子どももその日一日情緒が不安定だったり、親が沈んだ気分であることで泣いたりしませんか。そんな時にお母さんが笑顔で接したり、笑わせたりするだけで子どもの気持ちは少し明るくなると思います。

親の温かさや「いつくしみ」の心が子どもの笑顔と心を育てます。やはり子育てには笑顔が一番です。ご家庭とプチハウスで愛情に包まれた子どもたちの「至福の笑顔」をご覧ください。

楽しいリズム運動

リズム運動ってなに？



リズム運動は、音楽を耳で聞き、そのリズムに合わせて体を動かして楽しみます。子どもたちは音楽の違いを聞き分け、どの動きかを感じ取り体を動かします。様々な動きをすることで筋力も付き、脳への刺激にもなり集中力が育ち体の発達を促します。

リズムの曲も、かめ、とんぼ、うま、金魚などの子どもたちのよく知っている生き物が出てくるので、楽しんであそんでいます。

赤ちゃん組 (0歳児)

どんぐり
どんぐり...♪

赤ちゃん組では、保育者がリズム運動の歌を歌ったりピアノを弾いて、あそびの中でリズム運動を楽しんでいます。「どんぐり」や「うさぎ」の曲が流れてくると、床に仰向けになってコロコロ転がったり、歩ける子はその場でジャンプしようとする姿が見られ、リズム運動は子どもたちにとって身近なものとなっているようです。



えくぼ組 (0・1歳児)

いろいろな動き
できるよ～



赤ちゃん組の頃から耳にしていたピアノの音色。「どんぐり」「とんぼ」など様々な曲を聞き分け、体を動かして楽しんでいます。えくぼ組のお気に入りには「とんぼ」です。最後にピッと足を上げるところは、わざわざ壁際に行き体を支えたいバランスを取ったりしています。まだ小さな子どもたちですが、曲を聞き分ける力、動きを瞬時に判断する力、記憶力にはびっくりします。

とことこ組 (1歳児)

みてみて～！
できるよ～！

保育者がリズム運動の曲を弾くと、子どもたちは笑顔と笑い声があふれ、楽しくて仕方ない！とばかりに体を動かします。曲が終われば「次は何だろ？」と待つ子どもたちの目は、とてもキラキラしています。以前は保育者の動きを見て真似していた子どもたちでしたが、今では曲や音の高低を聞き分けて素早く姿勢や動きを変え、保育者に「みて！みて！」と嬉しそうに伝えてきます。



てくてく組 (2歳児)

ほら
上手でしょう



体を動かすことが大好きなてくてく組の子どもたちは、リズム運動の曲が聞こえるとその場で横になったりジャンプしたりと自然に体を動かして楽しんでいます。曲によって動きは全く違いますが、子どもたちは曲や動きを理解して喜んで動物の動きをしたりお友だちと手をつないでお船になったりしています。見ていると簡単な動きのように見えますが、大人でも難しい動きがあります。それでも子どもたちはにこにこ笑顔で取り組んでいます。

てくてく組の春夏秋冬

おともだちと一緒に
楽しいな～



てくてく組はフチハウスの中で一番大きい2歳児クラスで、お友だちや保育者と一緒に毎日のあそびを楽しんでいます。室内ではなみきりあそびやごっこあそび、指先を使ったあそびや、「あぶくたつた」などの伝承あそび、又、戸外では園庭や近くの公園に行き、四季折々の自然に触れながら心と体を動かして遊んでいます。今回は戸外あそびを紹介したいと思います。

春 「あみみ～つけた」



暖かい日差しの中で、草原に寝転んだり小さな虫を探したりして、探索活動を十分に楽しんでいます。また、登ったり降りたり、追いかけっこをしたいと体を動かしてあそんでいます。

夏 「みずつできもちいいね」



プールあそびを中心に、水、砂、土などの感触を味わいながら、友だちとかわりながらあそぶことを楽しんでいます。

秋 「おちばのシャワー だのしいな」



広場いっぱいのおち葉を踏みしめて音や感触を楽しんだり、友だちとかけあつたりしてあそんでいます。また、拾った木の実でケーキやコマを作ったり、ごっこあそびの中で食べ物などに見立ててあそんだりします。

冬 「つめたいけどだのしい～」



そりに乗ったり雪の上に寝転んだりなどして、雪あそびを楽しんでいます。雪の上をどろん歩き、雪が少し顔にかかっても転んでも平気です。

仏教行事

お釈迦様は子どもたちが健やかに育つように、いつもやさしく見守ってくれています。フチハウスの子供たちはお釈迦様が大好き！誰かがお釈迦様に手を合わせていると一緒に手を合わせています。行事を行う中で子どもたちの心の中にお釈迦様を少しでも感じてもらえたらと思いフチハウスでは1年の中で、花まつり、成道会、涅槃会の3つの仏教行事を行っています。



■花まつり(4月8日)

花まつりはお釈迦様のお誕生をお祝いする日です。園長先生に優しく教えて頂きながらお釈迦様に甘茶をかけます。いつも元気いっぱいな子どもたちもドキドキしながら甘茶をかけています。

■成道会(12月8日)



成道会はお釈迦様が悟りを開かれた日です。歌をうたったり、成道会のお話を聞きます。みんなでお釈迦様に手を合わせ、昼食にお赤飯を食べてお祝いします。

■涅槃会(2月15日)



涅槃会はお釈迦様がご成道になった日です。園長先生のお話を聞き、涅槃会のパネルシアターなどを見ます。昼食には白ぶかしを食べてお釈迦様を偲びます。